

2025年10月

取引様各位

株式会社 クレディセゾン

戦略企画部

パスワード付きファイルのメール送受信の終了に伴うご協力のお願い

拝啓 時下、ますますのご健勝こととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

このたび、当社では情報セキュリティ対策を一層強化し、お客様やお取引様の大切な情報資産の保護、及び、監督省庁である金融庁からの要請に対応するため、2025年11月20日以降のパスワード付きファイルのメール送受信を終了させていただくことになりました。

同日以降、パスワード付きファイルが添付されたメールにつきましては、当社受信者に送信者のメールアドレス・件名・送信日時のみを受信し、添付ファイルは自動的に削除されます。（送信者様にはメールが遮断されたことは通知されません）

お取引先様におかれましては、添付ファイルをお送りの際は、パスワードを設定せずにお送りいただくか、貴社でご利用のクラウドサービス等の安全な送付手段をご利用のうえ、お送りくださいますようお願い申し上げます。

ご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひいたします。

【背景】

従来、通称 PPAP*（パスワード付きファイル）は、多くの人が利用可能で通信経路上の暗号化を保証する方式として当社においても利用されてきました。

しかし、すでに暗号方式としてセキュリティを担保できるものでなく、昨今はパスワード付きファイルを添付することでセキュリティチェックを回避する、Emotet（エモテット）や IcedID（アイスド アイディー）、QakBot（Qbot）などのマルウェアが広まっています。

又、2020年には内閣府主導のもと、全省庁でPPAPが廃止され、2025年5月には当社の監督省庁である金融庁からもPPAP廃止の要請の呼びかけがなされております。

こうした背景のもと、お客様やお取引先様の情報セキュリティを確保するために、当社全体でPPAPを廃止することを決定しました。

※「Password付きファイルを送ります、Passwordを送ります、Angoka（暗号化）Protocol（プロトコル）」の略称

敬具